



1 岡山県版レッドデータブック（抜粋）

エヒメアヤメ

アヤメ科

Iris rossii Bak.

絶滅種	野生絶滅種	絶滅危惧種	危急種	準危急種	情報不足	希少種	留意種
-----	-------	-------	-----	------	------	-----	-----

環境庁：絶滅危惧 B類

生育情報：山の草地や疎林内に生える多年草で小型のアヤメ。葉は細く花時には長さ10cmくらい、花が終わると30cmくらいにのびる。高さ10cm内外の花茎の先に、径4cm足らずの青紫色の花が1個咲く。花期は4月。県内の自生地では山林内の下草刈りをすると花を咲かせているのに出会う。適当に木を伐り草刈りをすれば生存を維持できる。自生地の一部では、土地の所有者が、最近関心を持って管理に注意されている。

分布状況：国内では中国地方、四国、九州に分布している。県内では南西部の狭い範囲で見られるが、消滅した場所もある。

存続を脅かす要因：産地局限、園芸採取、草地開発、自然遷移（草地の森林化）、その他（常緑樹の植林）

2 指定理由

本種の現在確認されている県内の自生地は非常に局所的である。

過去においてしばしば盗掘が見られ、この地域の個体が失われれば県内の自生地における本種は絶滅する。

園芸採取、植林、草刈りの放棄等の人為的な影響により、本種の存続が脅かされていることから、特に保護を図る必要がある。